

代表質問・質問について

9月19日、20日、24日、25日の4日間で31人の議員が代表質問、質問(個人質問)を行いました。その一部を質問順にお伝えします。(表記方法は会派の意向を尊重しています。)

詳細な内容は、会議録をご覧ください。会議録は、市役所の市民総務室(情報公開)、図書館等に備えています。また、市議会のホームページでは、会議録検索・閲覧、本会議の録画放映の視聴ができます。

代表質問

今定例会では7会派が代表質問を行いました。



AEDを常時使用できる場所に

問 他市では、公共施設の閉館時でも緊急時にAEDを使用できるよう、屋外移設やコンビニエンスストアへの設置を進めている事例もある。本市でも担当部署を定め、AEDを24時間いつでも使用できる場所に設置を推進していくべきではないか。

答副市長 AEDの利用環境の整備は望ましいため、危機管理や消防を主な担当として、まず市の関与の在り方を検討し、必要な対応に努める。

北千里小学校跡地の複合施設の運営には地域力を生かす手法を

問 本市では、北千里小学校跡地複合施設を建設予定だが、他市の類似施設では、指定管理者制度を活用し、計画などに携わった市民等が設立したNPO法人を指定することで、市民参加型の運営をしている。本市でも地域力を高めるため、同施設の運営に同じ手法を取り入れてはどうか。

答市長 同施設が地域力を高めるモデル拠点となるよう、管理運営の手法についてしっかりと検討を進める。



JR吹田駅前の再整備について

問 昨年2月定例会で、JR吹田駅前整備の基本構想を策定するため、大阪府等の関係機関での組織体を設置し、準備を進める旨の答弁があった。現状と今後の方向性を聞きたい。

答 昨年8月にJR吹田駅南口周辺将来構想検討会として正式に発足し、第1回目の会議を開催した。

答副市長 今後については、同検討会でJR吹田駅南口周辺にふさわしいブランドデザインの検討を進める。

たばこ対策の取り組みを

問 環境美化推進重点地区の岸辺駅の北側では、喫煙所を設置しないなど、モラル任せの施策を推進した結果、たばこのポイ捨てが多く、むしろ環境が悪化している。市の協議状況を聞くとともに、市たばこ税で煙が漏れない喫煙所を設置してはどうか。

答 協議は庁内検討会議等で行っているが、現在、具体的な内容を示せる段階ではない。また、たばこ対策は喫煙所の設置ではなく、地域で喫煙しにくい環境づくり等が必要と考える。



いじめ予防授業の導入を

問 いじめは被害者、加害者のみならず、多くの子どもたちの成長にも影響を及ぼす。多様化するいじめの対応には、教員個人の経験だけでは限界があるため、科学的根拠に基づいたいじめ予防授業を全校に導入すべきと考えるが、見解を聞きたい。

答教育長 いじめが起こりにくい風土の構築が重要であり、科学的根拠がある方策の必要性を認識している。

答市長 いじめが生じにくい社会環境の整備策として、新たな可能性を感じており、今後の参考にしていく。

妊婦健診の助成を拡充せよ

問 市は、医療機関等で母子の健康状態を検査する妊婦健診に公費助成を実施しているが、近隣市等と比べ、助成額の上限が低額である。近隣市等と同程度に拡充すべきではないか。

答 他の自治体の助成額等を参考に、助成額の拡充を含め、検討していく。

答市長 他の自治体の状況等を参照し、一定以上の隔たりがあれば、適正な助成制度となるように努めていく。



民主・立憲フォーラム
川本 均

認知症の対策について

問 認知症は早期発見・対応が重要であることから、本市では、認知症初期集中支援チームを配置するなど、その対策に力を入れて取り組んでいる。これらの取り組みのほかに、できるかぎり認知障がい早期発見・診断につなげるため、市は、どのように市民に啓発を行っているのか。

答 軽度認知障害は、適切な対応で維持、改善できる場合もある。そのため、早期発見用の認知症チェックリストの配布や、認知症が疑われる相談者に受診を促す個別指導の実施、吹田さらさら脳トシ体操を活用した予防法の周知など、市民への啓発に取り組んでいる。

問 若年性認知症では、就労継続の難しさに起因する経済的な問題や、親の介護と重なる複数介護が課題と言われている。本市での実態と今後の対策について聞きたい。

答 大阪府が実施した若年性認知症の調査結果が、近く発表される予定であり、その調査結果を基に、関係部局と連携し、対策を検討していく。



大阪維新の会・吹田
斎藤 晃

特別職報酬等審議会について

問 特別職報酬等審議会委員には中立性が求められるため、多額の市補助金交付団体は委員から排除すべきではないか。また、市長後援会と利害関係があるとおぼしき企業代表者が委員であるようだが、不適切ではないか。

答 業務上の関係と、委員として適切かは関係がないものと考えている。私が所属していない組織について答える立場にはない。

吹田市開発ビル株式会社の問題

問 開発ビル株式会社が区分所有する吹田さんくすに、外壁落下防止ネットが設置されているが、救助・避難活動に支障はないのか。また、この危機管理上の問題が表面化しているのは、天井下り元消防長と元危機管理監が勤めているなど、同社の体質が原因と考えるが、どう取り組むのか。

答 ネットは防災性であり、切断を要するが、救助活動等に支障はない。今後、避難設備については指導する。
答副市長 今後、外郭団体とも連携し、さまざまな問題解決に取り組む。



日本共産党
山根 建人

再生可能エネルギーへの転換を

問 企業や自治体が使用電力を100%再生可能エネルギーに転換することを宣言し、実践する「再エネ100宣言REACTION」が新たな枠組みとして発足した。本市も参加表明し、取り組みを進めてはどうか。

答 本市は、再生可能エネルギーの導入拡大を図っているため、この枠組みの詳細を情報収集し、内容を精査して参加の必要性を検討していく。

子どもの貧困と虐待防止対策を

問 以前から子どもの貧困対策について、体制強化や本気の取り組みを求めてきたが、進捗状況を聞きたい。また、中核市移行に伴う児童虐待防止対策について、市長の決意を問う。

答 市内の子ども食堂を訪問し、状況の把握に努めながら、新たな対策と必要な組織体制を検討している。
答市長 児童虐待を見逃さないよう地域社会の意識を高め、行政と各機関が連携して未然防止に取り組むことが大切である。中核市移行を機に、これらの対応、機能を強化していく。



吹田新選会
後藤 恭平

中学校給食の実施方式の変更を

問 本市の中学校給食は、選択制のデリバリー方式で実施しているが、小学校と同様に全生徒に提供する実施でのニーズは、年々高まっている。費用やスペースの問題を理由に、一実施しないのではなく、まず可能な学校からモデル実施してはどうか。

答市長 大きな財政負担や将来にわたる実施スペースの確保、学校間で異なる給食方式への社会の容認など、問題の解決策を示せない現状では、慎重に政策判断すべきと考えている。

小規模校の教育の質を保て

問 小規模校では、教員の配置数が少ないため、大規模校等との教育の質に差が生じていると感じる。子どもへの教育の質を保つためであれば、地域理解も得られると思われるため、校区変更などを実施すべきでないか。

答 小規模校には、市費による教員配置を行い、多様化する教育課題の解消に努めているが、各学年すべてで学級が一つとなる場合には、学校の統合等の検討が必要と考えている。

質問（個人質問）

今定例会では24人の議員が質問（個人質問）を行いました。

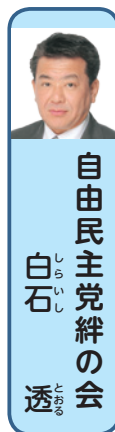


大阪維新の会・吹田
井口直美

子ども医療証の有効期限延長を

問 子ども医療費助成制度の医療証は、1年間の有効期限で、更新分が対象者に毎年送付されるため、医療機関が期限切れの医療証を提示され、困惑することがあると聞く。経費削減からも有効期限を延長できないか。

答 現行の中学校修了前までから、18歳年齢到達年度末までへの対象年齢拡充後は、制度対象期限内まで利用できる医療証を発行したい。



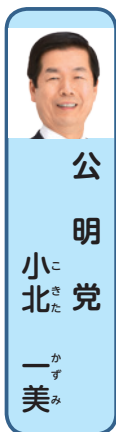
自由民主党絆の会
白石透

北千里地域で不足が見込まれる高齢者施設などの誘致の進捗は

問 北千里地域では高齢者施設や保育施設の不足が見込まれるため、平成30年9月定例会で北千里小学校跡地複合施設の建設予定地北側等に誘致すべきと質問したが、進捗を問う。

答 小規模特別養護老人ホーム等を、早期に整備できるように検討している。

答 保育施設を早期に公募できるように、関係部局と協議を進めている。



公明党
小北一美

認知症の診療体制の構築を

問 市は初期の認知症の方を支援するため、認知症初期集中支援チームを配置しているが、認知症の方のさらなる増加が予想される中、同チームと掛かりつけ医との連携が重要となる。掛かりつけ医を核とした認知症診療体制を構築すべきではないか。

答 掛かりつけ医の役割は大きいと認識しており、今後、医師会と連携し、認知症診療体制の構築に努力したい。



日本共産党
竹村博之

就学援助の支給対象について

問 本市の中学校給食は、生徒の選択制で提供しているが、その給食費が本市の就学援助で支給対象になっていない。大阪府内の多くの自治体では支給対象にしているため、本市でも早期に対象とすべきではないか。

答 経済的理由で給食の選択を控えていた生徒も、安心して食べられるよう、就学援助の対象とする必要があると考えており、今後も検討する。



公明党
井上真佐美

発達障がい初診待機の解消を

問 発達障がい疑われる児童等の初診待機が長期化している中、国は、医療機関が行う事前面接等を児童発達支援センター等に委託できるようにして、診断に専念できる環境整備を図っている。本市も関係機関での診断前の支援体制を構築できないか。

答 現在、診断に関係なく、各種の親子教室等で療育支援をしているが、初診待機解消策が必要と考えている。



日本共産党
村口久美子

特別教室のエアコン設置を急げ

問 小・中学校の特別教室では、エアコン設置が未完了のため、2学期には40度の日もあった。授業や部活動で使用する特別教室の過酷な現状を把握し、設置計画の前倒しも含め、早急に環境を改善すべきではないか。

答 現時点で設置完了時期の前倒しは困難だが、特別教室へのエアコン設置は不可欠と認識しており、早期設置に向け引き続き取り組んでいく。

本会議の傍聴に手話通訳者を派遣します

聴覚障がい者の方で手話通訳（無料）を希望される方は、傍聴希望日の7日前までに議会事務局までご連絡ください。

連絡先 議会事務局
FAX 06-6338-0920
メール gikaisyom@city.suita.osaka.jp
* 申込書などは、市議会ホームページに掲載しています。



民主・立憲フォーラム
木村 裕

災害ボランティアセンターの
新たな拠点の整備を急げ

問 平成30年の災害発生時に開設された災害ボランティアセンターでは、支援物資を保管する倉庫の確保やボランティアの受援体制等に課題があった。市として、新たな活動拠点の整備を早急に検討すべきでないか。
答副市長 総合福祉会館だけでなく、市内大学等の施設も活動拠点に加えるなど、早急に検討を進めていく。



吹田新選会
有澤 由真

校内塾創設で放課後学習支援を

問 子どもの放課後対策について、各地域の尽力などにより、安心、安全な居場所が確保されているが、学習面では、共働きや経済的な理由等で子どもの塾通いが困難な家庭もあり課題と感じる。教育格差の解消のためにも校内塾を創設してはどうか。
答 指導する人材や教室確保などの課題があり、早急に実現できないが、他市での実施状況等を調査していく。



大阪維新の会・吹田
高村 将敏

公立保育所でおむつを処分せよ

問 本市の公立保育所では、使用したおむつを保護者が持ち帰ることが義務づけられている。保護者に排せつ状況から健康状態を確認してもらい、理由であれば、帰る際に確認してもらい、保育所で処分できないのか。
答 おむつの処分費用や処分までの保管場所が必要となえ、おむつの保管には適切な衛生管理が必須であるため、他市事例も参考に研究したい。



公明党
矢野伸一郎

健康施策にボウリングの活用を


問 健康志向の高まりから、生涯スポーツとしてのボウリングに注目が集まっている。実際、ボウリングを生涯スポーツで行う者は、体力年齢が歴年齢より約4歳若いと示す研究結果もあるため、本市の健康施策でボウリングを取り入れてはどうか。
答 ボウリングは幅広い年齢層で楽しめ、交流が心の安らぎにもなるため、どう取り組めるか検討していく。



日本共産党
益田 洋平

万博公園南交差点の渋滞対策を

問 万博公園南交差点において、エキスポシティからの出場車による渋滞が、特に土日、祝日の夕方ほど、山田東地域の住民の車両等が交差点に進入できない状況が解消されていない。市の責任で関係機関とさらなる渋滞対策を講じるべきではないか。
答 どのような対策が可能であるか、大阪府茨木土木事務所、吹田警察署及び三井不動産株式会社と協議する。



日本共産党
塩見みゆき

千里丘駅西口の再開発について

問 摂津市にある千里丘駅は、多くの吹田市民が利用しているが、駅西口前が非常に狭いため、通勤、通学の時間帯は特に危険である。摂津市の施行で、再開発に向け始動したと聞いたが、現状はどうなっているのか。
答 摂津市では、同駅西地区の市街地再開発事業等の都市計画決定に向け手続きを進めており、昨年8月に市民説明会を開催したと聞いている。

本会議傍聴時の一時保育を実施しています

生後12か月以上就学前の幼児を持つ保護者の方が本会議を傍聴される際に、無料で一時保育を実施しています。

本会議の質問日及び討論・採決(会期最終)日の、(1)午前10時から午後0時、(2)午後1時から午後3時、(3)午後3時から午後5時の各2時間を1単位とし、それぞれ4人までお預かりできます。(利用上限は、幼児1人につき1日当たり1単位で、申し込み先着順)

希望される方は、傍聴希望日の3日前までに、議会事務局(直通電話6384-2644)にお申し込みください。



実際の一時保育の様子



吹田新選会
石川 勝

Maasで地域課題の解決を

問 Maasは複数の交通手段を一 つとして捉え、利用者にサービスを 提供する新たな移動の概念であるが、 行政がこれを取り入れ、事業者と連 携すれば、多様な地域課題を解決で きると考える。本市でのMaasの 導入について、どう考えているのか。

答 市民の移動手段の確保や新たな まちづくりの可能性も考えられるた め、先事例を参考に研究していく。



市民と歩む議員の会
五十川 有香

特別教室の空調未整備の責任は

問 市長は猛暑から子どもを守るた め、安全な教育環境を整えるとして施 方針で述べたが、特別教室で熱中症 の疑いで救急搬送された事案はなか ったのか。また、空調未整備の中で事 案があれば、責任者は誰になるのか。

答 昨年8月に、中学校の部活動中、 熱中症の疑いで生徒3名が緊急搬送 された事例があった。なお、各校の環 境衛生管理の責任者は学校長である。



民主・立憲フォーラム
西岡 友和

今後の重要な市政課題の展望は

問 本市において、高齢者への健康 長寿の取り組みや子育て世代への支 援、未来を担う青少年への積極的な 投資が、今後の重要な市政課題と考 える。これらの課題の展望について、 どのように考えて進めていくのか。

答市長 全市民に対して何が必要な のか、議会と行政が知恵を持ち寄り、 前向きな議論を重ね、責任を持って 決断できるような市政運営に努める。



大阪維新の会・吹田
橋本 潤

教育委員会への改革の現状は

問 市長は昨年の7月定例会で、い じめ事案を受け、教育委員会改革の 必要性と、その改革で市長部局が関 与すべき範囲を詳しく答弁した。そ の取り組みの現状について聞きたい。

答市長 現在、改革の最中だが、高い 教育意識を持つ多くの現場の教師を 尊重しながら、学校組織が苦手とす る組織経営などを市長部局が補強し、 望ましい体制づくり等に取り組む。



公明党
野田 泰弘

日の出住宅の解体工事について

問 市宮日の出住宅の解体工事につ いて、近隣住宅への影響に関する家 屋調査は、近接の住宅だけでよいの か。また、がれき搬出車両に関する 説明は、経路沿いの住民に行うのか。

答 家屋調査は、過去の実績により、 敷地境界から10mの範囲で行う予定 であり、妥当と考える。また、搬出 車両の説明は、説明会の開催のほか、 経路沿いの住民には個別訪問を行う。



自由民主党絆の会
泉井 智弘

重度障がい者通所施設の整備を

問 医療的ケアを要する障がい者の 通所施設は、いまだ2か所である。こ れまで多額の予算を投じてきた重度 障がい者支援策がずさんであったと 考えるが、当該通所施設を選択でき る早急な環境整備が必要ではないか。

答 すべての障がい者が福祉サービ スを選択できる環境整備が必要と認 識している。今後、事業者の多様な事 業展開や新たな参入促進に取り組む。



公明党
坂口 妙子

マイ・タイムラインの作成を

問 市は大規模災害の発生に備えた タイムライン(防災行動計画)を作成 したが、それ以外にも、家族構成や 生活環境等に合わせたマイ・タイム ラインを、一人でも多くの市民に作 成してもらうことが重要ではないか。

答 災害を想定し、個人はもちろん、 家庭や地域で話し合い、マイ・タイ ムラインなどの行動計画を作成し、 共有することは大変重要と考える。



市民と歩む議員の会
池淵 佐知子

ガンバ大阪と協働の読書振興を

問 セレソン大阪は、読書を通じて 子どもの豊かな心を育むため、大阪 市立図書館と協働し、市立小学校の 全児童にオリジナル読書手帳を配布 している。本市でも、ガンバ大阪と オリジナル手帳を配布してはどうか。

答 ガンバ大阪と協働した読書振興 は、児童が読書を楽しむ契機になる ため、大阪市での読書手帳の配布事 例を調査し関係部局と検討していく。



自由民主党 石田 就平

新生児聴覚検査に対する助成を

問 現在、大阪府内の12市町村では、新生児聴覚検査の費用を助成している。過去に国から、市町村への地方交付税措置を拡充したため、同検査の公費助成の実施を求める通知があったが、本市はいつから実施するのか。
答 現在、同検査の方法や費用などについて、他市町村や医療機関等に調査を行っており、検査費用の助成の実施に向けた方策を検討している。



日本共産党 柿原 真生

佐井寺西土地地区画整理について

問 道路と宅地を一体的に整備する佐井寺西土地地区画整理事業の完了後、対象地区の人口増加が想定されており、周辺住民は公共施設の整備にも高い関心を寄せている。同事業によるまちづくりの考え方を聞きたい。
答 市長 良好なまちづくりの意味を改めて考え、将来像を具体的に示したうえで事業を進め、暮らしやすく環境に配慮したまちづくりに努める。



無所属クラブ 生野 秀昭

レスリング教室に常設練習場を

問 強豪チームの吹田市民レスリング教室が成績不振の傾向にあるが、市はどう分析しているのか。また、常設練習場の設置の検討状況を問う。
答 全国大会入賞者が減っているが、民間クラブと比べ練習環境が不十分な中、全国の強豪であることは、指導者等の努力のたまものと考えている。
答 市長 小規模な常設練習場の設置について、引き続き検討していく。



大阪維新の会・吹田 松尾 翔太

スモークフリー実現への対策は

問 市が進めているスモークフリーの取り組みには賛同するが、実際には、平然と路上喫煙が行われていると感じる。路上に吸い殻が捨てられている現状にどう対応していくのか。
答 市長 まずは喫煙者の良識に訴え、マナーを守ってもらえるよう、引き続き、粘り強く啓発していくが、その取り組みの先には、より厳しい対応を行うこともありえると考えている。

市議会ホームページから会議録の検索、閲覧ができます

パソコン、スマートフォン等で、議会の会議録(本会議録、委員会記録)をご覧になれます。なお、本会議については、正式な会議録が作成されるまでの間、速報版を掲載しています。(速報版は、本会議最終日(討論・採決)から、おおむね20日以内にその会期中の会議録を掲載し、正式な会議録を会議録検索システムに掲載した時点で削除します。)



本会議録の速報版の閲覧方法

①をクリックすると、閲覧したい日の会議録が選べます。

会議録検索システムの閲覧方法

②をクリックすると、検索システムのトップ画面が表示されますので、右上にある「検索」ボタンをさらにクリックし、表示された画面内の対象年、キーワード、発言者、会議の種類などの条件を絞り込めば、質問や答弁を検索することができます。

